

## フォー・セール

プレイ人数:3-6人 / 対象年齢:8歳以上 / プレイ時間:20-30分

これは短時間の中で競りとハタリを駆使し、財を成すのを目指すゲームです。財産をいかに買うかではなく、いかに売りさばくかが勝敗を分けます。前半には賢くお金をやりくりして、価値の高い財産を可能な限り少ないお金で購入する事を目指します。そして後半ではライバル達の裏をかき、購入した財産を売却して最も価値の高い小切手カードに変えるのです。ゲーム終了時に、最も裕福になったプレイヤーが勝者となります。

### 内容物

- ・小切手カード 30枚 (\$0~15,000各2枚、\$1,000は0枚)
- ・財産カード 30枚
- ・コイン 72枚 (\$2,000が12枚、\$1,000が60枚)

### 準備

財産カードと小切手カードを分け、それぞれシャッフルします。財産カードを伏せて（前半用の）山札とし、小切手カードも伏せて別の（後半用の）山札とします。

3~4人プレイでは、各々に\$2,000コイン2枚と\$1,000コイン14枚を配ります。5~6人プレイでは各々に\$2,000を2枚と\$1,000を10枚配ります。コインは手に隠して持ちます。なお、\$2,000と\$1,000の両替はいつでも自由です。

3人プレイでは、財産および小切手カードから無作為に各6枚を取り除き、箱に戻します。4人なら同様に各2枚を取り除きます。

適当な手段で最初の競りの親を決めたらゲーム開始です。

© 2011 Stefan Dorra 1/3

## 遊び方

### 前半：財産の購入

財産カードの山札から、プレイ人数と同じ枚数だけめくり、中央に置きます（例えば4人プレイなら4枚めくりまします）。

この中央の財産を競りで争います。この競りでは親が最初の手番を行い、以降は時計回りに手番がめぐっていきます。

手番のプレイヤーは「ビッド（値付け）」か「パス」を行います。パスを選んだら、この競りの間、もう手番は回ってきません。1人を除く全員がパスするまで競りは続きます。

### ビッド

自分のコインを\$1,000以上、任意の額だけ手から出して提示します。前回の手番でビッドを行い、一周して再びビッドするという場合、以前の提示に足す形で行います。

他にビッドを行っているプレイヤーがいる場合、他の誰をも上回る額を提示しないとけません。

### パス

パスをする場合、中央に出ている財産カードのうち最も値の小さいものを取ります。また、自分の出していた提示の半額（端数は\$1,000単位で切捨て）を取り戻します。例えば、\$3,000の提示を取り下げてパスすることにした場合、\$1,000を手元に戻します。残りのコインは箱に戻します。1人を除く全員がパスしたら、残ったプレイヤーは最も高い財産カードを取りますが、提示した全額を支払わねばなりません。全くビッドせず直ちにパスした場合でも、その時点で中央に出ている最も安価なカードを無料で獲得できます。この競りでは、全員が財産カードを必ず1枚ずつ獲得できるのです。

© 2011 Stefan Dorra 2/3

購入した財産カードは、それぞれ自分の前に伏せて置きます。最も価値の高い財産カードを取ったプレイヤーが、新たな親となり、次の競りを始めます。次の競りに使う財産カードをめくり、再び親から時計回りに手番を行っていきます。

全ての財産カードが購入されるまでこれを続けます。

全て購入されたら、前半が終了します。使用しなかったコインはそのまま持ちます。これらはゲーム終了時の所持金に含まれます。

### 後半：財産の売却

ここでは財産カードを売却し、小切手カードに換えます。前半同様、人数分の小切手カードをめくりまします。それぞれ自身の財産カードを手札として持ち、そこから1枚を自分の前に伏せます。

全員が財産カードを伏せたら、同時にめくりまします。最も値の大きな財産カードを出したプレイヤーが、最も価値の高い小切手カードを取りまします。2番目に値の大きな財産カードを出したプレイヤーが2番目に価値の高い小切手カードを取り、以下同様にしまします。出した財産カードは捨て札にしまします。以上を、山札と全員の手札が尽きるまで繰り返しまします。

### ゲームの終了

全員が自身の財産カードを全て売却したらゲームは終了しまします。それぞれ自分の小切手カードと手元に残したコインの金額を合計し、最も所持金の多いプレイヤーが勝利しまします！

タイの場合、残っていたコインの金額が多い方が勝者です。

著：ステファン・ドラ

© 2011 Stefan Dorra 3/3